

	ご意見の要旨	市の考え方
プラン全体について		
1	子育てをしていない世代も一緒に、子育て支援に参加してほしい。	本プランにおいては、基本理念に「地域社会全体で子どもの健やかな育ちを支え、保護者とともに成長を実感できるまちの実現」を掲げ、地域や社会が保護者や子どもに寄り添い、子どもの健やかな育ちを支え、子育てや子どもの成長を実感できるまちの実現をめざしています。
2	SDG s とプラン（案）の関わりを知りたい。	「堺市SDG s 未来都市計画」では、人口減少社会の中にあって限られた資源を結集して、選択と集中のもとで効果的なまちづくりを行うため、3つのリーディングプロジェクトを定めています。その中の一つに「子育てのまち堺・命のつながりへの挑戦！」を掲げ、子育てや教育環境の充実に資する取組を推進することで、SDG s の達成を図るとしています。 本プランは、本市における子ども・子育て支援事業の総合的なプランであり、「堺市SDG s 未来都市計画」を関連計画と位置付け、同計画との整合を図りながら推進していきます。
3	子ども・子育て支援のニーズ調査の結果を載せてほしい。	子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果につきましては、本プランとは別に市HPで公表しています。
4	堺市の子育て支援の施策をわかりやすくPRするべき	今後、あらゆる機会をとらえて、本プランの内容を始め、本市の子育て支援の取組をわかりやすく発信していきます。
施策領域 1-1 妊娠・出産や乳幼児の健やかな育ちへの支援		
5	子どもの受動喫煙防止に関する具体策が書かれていない。	ご意見を踏まえ、「施策領域1-1 妊娠・出産や乳幼児の健やかな育ちへの支援」に掲載の「妊産婦・乳幼児等の保健指導事業」の事業概要に「妊娠中からの禁煙や子どもの受動喫煙の影響」について追記しました。 本市の健康増進計画では、子どもの頃からの健やかな生活習慣づくりについても、関係各課と取り組んでおります。子ども・妊婦の受動喫煙防止については、たばこ分野の健康につながる施策に位置付け、禁煙支援や防煙教育等を実施しております。

ご意見の要旨		市の考え方
施策領域 1-2 多様な教育・保育サービスの体制の確保		
6	保育士が足りていないため、保育士人材の育成につながる施策を打ち出すべき。	<p>子どもが好きで保育士になりたいと思い、指定保育士養成施設に入学したにもかかわらず、志半ばで諦めてしまう学生が少なからずいるという状況もふまえ、一人でも多くの方に保育士として就職してもらいたいとの思いから、昨年、市内にある指定保育士養成施設と連携・協力のもと、保育人材の確保を推進することを目的とする協定書などを締結しました。これに基づき、学内で保育施設の園長や職員に気軽に話を聞く場を設定し、保育現場で勤務することの魅力伝える取組を行うとともに、早くから市内で保育士や保育教諭として就職を希望する学生に対しては、2年を限度に、3年間の就職継続を要件として修学支援金を支給するなど、学生への支援を行っています。また、市内民間保育施設に就職した新卒者に対し、施設が支給する就職支援金への補助を行っているほか、職員の配置改善などへの補助や休暇取得率向上などに取り組む施設への補助など就業環境の向上のための取組も行っており、市独自施策によって離職防止にも注力しています。</p> <p>国が実施する処遇改善の取組に対しては、本市も応分の負担を行っていますが、本来、施設の運営に必要な人件費は、国の公定価格の基本額において確実に担保されるべきであり、様々な機会を通じ、国による抜本的な処遇改善、確保対策の実施を求めています。</p>
7	市からの給付金が保育士の給与アップにつながっているか確認する仕組みが必要。	保育士への処遇改善については、賃金改善の実績報告を求め、国・府・市からの給付額が確実に賃金に充当されているか確認しています。引き続き、適切な運用に努めていきます。
施策領域 3-4 子どもの貧困対策の推進		
8	子どもがおかれている貧困の実態を踏まえて、関係部局が連携して、よりきめ細かな支援を検討していくべき。	本市では、平成28年度に「子どもの生活に関する実態調査」（市HP参照）を実施し、その調査結果等を踏まえ各支援を実施しています。また、それ以降は各支援事業を実施する中で、子どもや家庭の状況を把握し、関係部局が密接に連携の上、子どもの貧困に関する実態把握に努め、その対策に資する取組の充実・強化に努めています。
施策領域 4-1 地域社会全体で支え合う子育て環境の整備		
9	地域密着の子ども食堂を整備してほしい。	本市では、地域の多種多様な団体が運営する子ども食堂の開設と持続的な活動を支援するため、平成29年度から「子ども食堂ネットワーク構築事業」を実施しています。また、同事業は、本プランの施策領域「4-1 地域社会全体で支え合う子育て環境の整備」の推進事業にも位置づけています。

	ご意見の要旨	市の考え方
施策領域 4-3 安全・安心な子育て環境の整備		
10	<p>都市公園の整備事業について、事業概要の表現「子ども達が自由・活発に遊ぶことのできる公園づくり～」としてはどうか。また、令和6年度目標事業量等に「都市公園全〇〇箇所の現状把握（隣接土地利用含む）と段階的な整備方針・計画の策定」を追加してはどうか。</p>	<p>本市では堺市緑の基本計画に基づき、市街地の防災特性や周辺の条件、地域住民のニーズなどを考慮しながら、地域に親しまれる公園の着実な整備に取り組んでいます。ご意見を踏まえ、事業概要を「子どもから高齢者まで地域の住民に親しまれる魅力のある公園づくり～」と修正いたしました。</p> <p>また、本市では同計画に基づき、区域間のバランスと特性や公園ごとの役割に配慮しながら、身近な歩いて行ける公園から大規模な公園まで、地域のニーズを踏まえて計画的に事業を推進しており、都市計画決定された都市公園について、今後も整備を進めていきます。なお、現在、計画的に整備を行うことを目的とした整備プログラムの策定を進めており、効果的かつ効率的に公園整備を推進していきます。</p>
11	<p>新規事業の追加について</p> <p>生活道路等の再整備及び安全性の点検をする事業を追加してはどうか。</p> <p>事業内容としては、通園・通学等で子どもが歩くことのできる生活道路等において、ガードレール等の安全対策が講じられているか、また危険がブロック塀等が存在しないか等について、確認・点検を行い、危険が箇所から優先的に対策を講じていく。</p>	<p>【就学前教育・保育施設及び障害児通所支援事業所で児童が移動する経路について】</p> <p>ブロック塀につきましては、本市又は各施設において国から示された基準等に基づく安全点検を行い、設置者が必要な改修等を行っています。</p> <p>大津市内で発生した事故を受け、市内全ての就学前教育・保育施設及び障害児通所支援事業所等において、未就学児や利用児童が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検を実施し、周辺の危険箇所の把握、園外活動を行う際の移動ルートや人員体制等の確認及び見直し等を行うとともに、安全対策をより強化しています。当該点検による危険箇所については、路面標示の更改やポール・巻き看板の設置、信号サイクルの変更などを順次進めています。さらに、施設周辺の道路における自動車の運転手等に対する注意喚起を行い、園児等の安全を確保するため、国においてキッズゾーンの設定を推進することを受け、モデル実施箇所を選定する予定です。</p> <p>【公立小学校の通学路について】</p> <p>平成24年度に市、教育委員会事務局、小学校、所轄警察署、地元自治会等の関係者が連携して通学路の緊急合同点検を実施し、注意喚起の路面標示やグリーンベルトの設置等の安全対策を行いました。その後、学校で定期的に通学路の点検を行うとともに、平成27年度に策定した堺市通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携して、通学路の安全確保を図っております。</p> <p>また、大阪府北部地震の発生後にも通学路の安全点検等を実施し、危険と思われるブロック塀等がある危険箇所付近は通行しないよう指導しております。</p> <p>【啓発・補助制度について】</p> <p>本市では、ホームページ等でブロック塀の安全点検を行うよう所有者に周知啓発するとともに、安全対策が実施されるよう注意喚起を行っています。地震時の道路等の通行の安全、迅速な避難のための経路の確保を促進することを目的として補助制度を創設し、制度の周知を行っています。</p>

	ご意見の要旨	市の考え方
地域子ども・子育て支援事業		
12	放課後支援員への給与アップ等の支援が必要。	指導員等の処遇改善は課題であると認識しており、今後も予算の確保に努めます。
13	市立幼稚園における預かり保育モデル事業について、事業の有効性が一定確認できた場合には、他の市立幼稚園にも拡充していく方向性を計画に盛り込んではどうか。	今後、さらなる少子化の進展、教育・保育ニーズの多様化などに対応しつつ、預かり保育を含め、本市全体の子育てサービスや幼児教育の充実が図られる手法を検討しています。
その他		
14	プラン案の見せ方等について意見あり	